

東京本社2011 (日刊)

# 東京新聞

夕刊

中日新聞東京本社  
東京都千代田区内幸町二丁目1番4号  
〒100-8505 電話 03(6910)2211

当方、容貌にも才能にも自信がないため芸能人を志したことはないが、一旦スターの座に着いた人間のその後の生き方に煩悶がつきまとうことは想像できず。瞳みのる。愛称ピー。絶大な人気を誇った往年のグループサウンズ、ザ・タイガースのドラマーだった男が今春

## 波小波大

制を経て慶應大中国文学科に入学。卒業後は高校教師を三十年以上務める傍ら、北京に留学するなどして中国との交流を重ねた。引退

### スターのその後

解散前、役者をめざしたこともあるという瞳。ある劇団に入団を希望したが、グループサウンズへの偏見から断られた。今の時代な

ら歓迎されるだろうが、七〇年代の劇団には矜持があったということか。引退後は徹底してマスコミを避け、かつてのメンバーにも会わずに、勤務先でいいたいことをいい、やりたいことをやってきたと瞳はいう。タイガース時代、コーラスに加わらず一心にドラマを叩いていた男は、実人生でも同様に何かを叩きつけてきたと見た。(みどる)

出した自伝『ロング・グッバイのあとで』(集英社)が売れているようだ。本書によれば、タイガース解散後、瞳は高校の定時

したスターの経歴としてはやや異色だが、祖父や父が従軍し中国に渡った経験があるため、子どもの頃から中国に関心を寄せてきた。